

2024年度 修士課程入学試験（秋期）

試験問題〔専門〕

早稲田大学大学院スポーツ科学研究科

問題A-1～E-9の中から志望研究指導の問題について解答しなさい。

志望研究指導以外の問題を選択した場合や2問以上解答した場合は採点されません。

| 問題記号 | 研究領域 | ページ |
|--------|--------------|----------|
| A-1～7 | スポーツ文化研究領域 | P. 1～2 |
| B-1～8 | スポーツビジネス研究領域 | P. 3～4 |
| C-1～18 | スポーツ医科学研究領域 | P. 5～7 |
| D-1～6 | 身体運動科学研究領域 | P. 8～9 |
| E-1～9 | コーチング科学研究領域 | P. 10～11 |

A. スポーツ文化研究領域

A-1 研究指導名：スポーツ史（石井 昌幸）

イギリスのスポーツ史家トニー・コリンズは、1870年頃から第1次大戦前頃までを「スポーツの産業革命」の時代と呼んでいる。この「スポーツの産業革命」とは、どのような事象か、具体的に説明しなさい。

A-2 研究指導名：舞踊論（杉山 千鶴）

舞踊・ダンスの特定のジャンルにみられる固有の技法を1つ取り上げ、その内容、成立背景とその後の変容の有無、当該ジャンルにおける現在の位置づけについて述べよ。

A-3 研究指導名：体育科教育学（吉永 武史）

現行の学習指導要領を踏まえ、これからの教科体育の在り方について、①カリキュラムならびに②授業づくりの観点から具体的に述べよ。

A-4 研究指導名：スポーツ教授学（深見 英一郎）

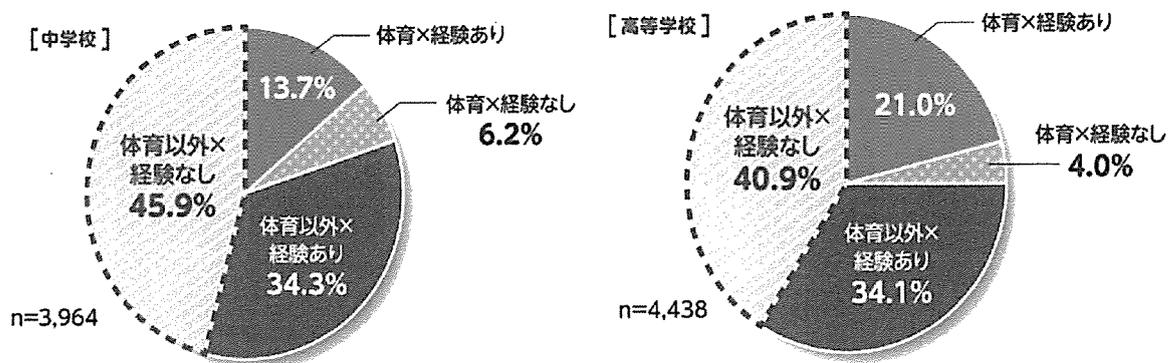
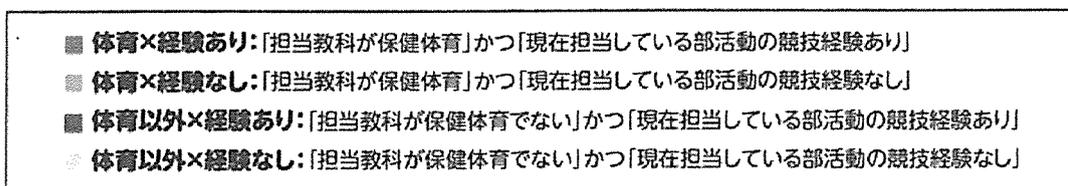


図1 担当教科×現在担当している競技の過去経験の有無

上の図は、2014年に日本体育協会（現・日本スポーツ協会）、日本中学校体育連盟、全国高等学校体育連盟が全国から無作為抽出した中学校383校、高等学校256校の運動部顧問（副顧問・管理顧問を含む）の教員に対して行った調査結果である。この結果から、運動部活動の指導現場で起こりうる問題を3点挙げて解説しなさい。

【出典】「学校運動部活動指導者の実態に関する調査」平成26年7月 公益財団法人 日本体育協会 指導者育成専門委員会

A-5 研究指導名：スポーツ社会学（中澤 篤史）

以下の①～③の社会学の学术用語の中から 1 つを選んだ上で、i) その学术用語の意味を説明し、ii) その学术用語を使って、スポーツに関連する任意の社会現象を論じなさい。

① 相互行為 (interaction) ②機能主義 (functionalism) ③セクシャリティ (sexuality)

A-6 研究指導名：スポーツ文化論（川島 浩平）

「文化」とは何かを定義したうえで、アメリカの大学スポーツと日本の大学スポーツを、文化的観点から比較・対照しなさい。

A-7 研究指導名：アジアのスポーツと身体文化（高嶋 航）

アジアの伝統スポーツの近代化について知るところを述べよ。

B. スポーツビジネス研究領域

B-1 研究指導名：スポーツ経営学（木村 和彦）

スポーツ（アウトドアやアドベンチャーを含む）におけるオーバー・ツーリズムの問題について、事例を交えて説明しなさい。

B-2 研究指導名：健康スポーツ論（中村 好男）

1998年1月のWHO執行理事会（総会の下部機関）において、WHO憲章全体の中の「健康」の定義を「完全な肉体的(physical)、精神的(mental)、Spiritual及び社会的(social)福祉のDynamicな状態であり、単に疾病又は病弱の存在しないことではない。」

"Health is a dynamic state of complete physical, mental, spiritual and social well-being and not merely the absence of disease or infirmity."

と改める（下線部追加）ことが議論され、1999年5月のWHO総会の議題とする（審議される）ことが決定された。しかしながら当該総会に先立つ小委員会で「審議見送り」との見解が示され、総会では審議されずに現在に至っている。

「健康の定義にスピリチュアリティを加える」ことについての論争がその背後に存在すると指摘されているが、このことについて意見を述べよ。

B-3 研究指導名：トップスポーツビジネス論（平田 竹男）

一つのスポーツを選び、そのスポーツの発展や衰退をトリプルミッションモデルを用いて論ぜよ。

B-4 研究指導名：スポーツ組織論（作野 誠一）

わが国のスポーツ界における組織構造の変更・改変の例を挙げ、その背景や方法等について組織構造論の立場から説明せよ。

B-5 研究指導名：スポーツビジネス・アドミニストレーション（武藤 泰明）

日本のプロサッカー（Jリーグ）のクラブの多くは、SDG'sの17の目標のうちの1つまたはいくつかを実現するための活動を実施しています。この理由を解説してください。

B-6 研究指導名：スポーツビジネスマーケティング（松岡 宏高）

プロダクトとしての「見るスポーツ」には、一般的な物財やサービス財とは異なるいくつかの特性がある。まず、それらの特性について述べ、さらにそれらの特性が「見るスポーツ」を提供するプロスポーツ組織（クラブ、チームやリーグ）のマーケティングを難しくしている点について論理的に解説せよ。

B-7 研究指導名：スポーツビジネス法（松本 泰介）

小学生である A は、X 市が主催する夏のスポーツイベントに出場したところ、熱中症で倒れ、死亡した。

（1）主催者として、このスポーツイベントを運営していた X 市は、どのような法的責任を負う可能性があるか。

（2）X 市が A の両親から損害賠償請求された場合、X 市が守るべき安全配慮義務の内容を決定する要素として、どのような要素が考えられるか。また、当該要素が安全配慮義務の内容にどのような影響を与えるのかについても述べよ。

B-8 研究指導名：スポーツ&エンターテインメントマネジメント（佐藤 晋太郎）

アウトドアスポーツへの参加は、人間のウェルビーイングの醸成に寄与することが分かっています。どのように寄与するのかあなたが考える心理的プロセスを説明してください。

C. スポーツ医科学研究領域

C-1 研究指導名：運動免疫学（赤間 高雄）

新型コロナウイルス感染症の拡大時には、不要不急の外出を控えることが求められ、運動不足による健康二次被害が懸念されました。

まず、運動不足が免疫機能に及ぼす影響を説明し、つぎに、運動不足の者が適切な運動を開始して継続した場合に免疫機能におこる変化について説明しなさい。

C-2 研究指導名：運動器スポーツ医学（鳥居 俊）

少年野球選手の投球動作は年長者と比べて肘が下がっているなどの違いが指摘されている。これについて身体発育やスポーツ医学の視点から考えを記しなさい。

C-3 研究指導名：健康行動科学（岡 浩一朗）

①子ども・青少年、②勤労者、③高齢者の中から対象を1つ選択し、長時間の座位行動（座りすぎ）の実態ならびに心身の健康に及ぼす影響について、知るところを述べよ。

C-4 研究指導名：スポーツ整形外科学（金岡 恒治）

腰痛の病態を複数あげて、それぞれの腰痛の発症メカニズムと、運動療法の方法のポイントについて述べよ。

C-5 研究指導名：予防医学（鈴木 克彦）

運動による免疫系の変動に関して、その特徴、機序および対策について知るところを述べよ。

C-6 研究指導名：アスレティックトレーニング（広瀬 統一）

下の表は20歳の成人男性のある時点での安静時、および運動強度が100ワット(W)、200W、最大で一定時間の運動を行った際の心拍数、一回拍出量、心拍出量を示している。この表をもとに、以下の3つの設問に答えよ。

1. 表内の心拍数、一回拍出量、心拍出量の単位を示す。
2. 表内の(1)～(4)に相応しい数字を示す。
3. 有酸素性持久力トレーニングを3か月間行った後に、運動強度が200Wおよび最大の時の心拍数と一回拍出量は、表の数字と比較してどのように変化するかを述べ、その理由についても簡潔に説明せよ。

| | 安静時 | 100W | 200W | 最大 |
|-------|-----|------|------|-----|
| 心拍数 | 70 | 140 | 180 | 200 |
| 一回拍出量 | 70 | (2) | 120 | (4) |
| 心拍出量 | (1) | 14 | (3) | 24 |

C-7 研究指導名：筋生物学（秋本 崇之）

骨格筋肥大の分子メカニズムに関して、現在理解されているところを述べよ。

C-8 研究指導名：運動代謝学（宮下 政司）

生活習慣病の予防のための運動の役割について、「代謝」および「食欲」の語句を用いながら、知ることを述べよ。

C-9 研究指導名：運動器スポーツ機能解剖学（熊井 司）

人体の構造の中で腱・靭帯が骨に付着している部分は解剖学的にエンテシス（enthesis）と呼ばれ、様々なスポーツ障害が発生する部位として知られている。上腕骨外側上顆にみられる障害はテニス肘とも呼ばれ、その発生にはエンテシスの構造と力学的負荷が大きく関与していることが分かっている。この部位における障害の病態と治療・予防法について、以下の10個のキーワードの中から8個以上用いて解説せよ。

キーワード：線維軟骨組織、オーバーユース、微小損傷、橈側手根伸筋、総指伸筋、バックハンドストローク、Thomsen テスト、装具療法、ストレッチング、体外衝撃波治療

C-10 研究指導名：健康教育学（石井 香織）

令和5年4月に施行されたこども基本法は、日本国憲法および児童の権利に関する条約の精神にのっとり、全てのこどもが、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指し、こども政策を総合的に推進することを目的としている。このような社会の実現に、健康教育学はどのように貢献できるか。考えるところを述べよ。

C-11 研究指導名：スポーツ神経精神医科学（西多 昌規）

設問A、Bに解答してください。

A. ヒトにおける一晩の睡眠の推移・変化を、NREM睡眠やREM睡眠の特徴に触れながら説明してください。

B. 朝練習の長所・短所を、睡眠科学や時間生物学の点から論じてください。

C-12 研究指導名：スポーツ疫学（澤田 亨）

「平均への回帰」を説明せよ。

C-13 研究指導名：アスレティックパフォーマンス（平山 邦明）

Rate of force development に影響を及ぼす因子をできるだけ多く挙げるとともに、各因子がどのようなメカニズムでRate of force development に影響を及ぼしているか記せ。

C-14 研究指導名：環境運動生理学（細川 由梨）

以下の属性の人々のヒートストレス軽減のために当事者が実施すべき対策をそれぞれ2つ以上挙げ、それらの対策の根拠を（1）科学的根拠と（2）実現可能性の観点から述べよ。

A) 夏季に屋外で作業する建設工事従事者

B) 居住地域よりも最高気温が10度以上高い地域で国際大会を控えているサッカー選手

C-15 研究指導名：スポーツ生化学・遺伝学（谷澤 薫平）

単一遺伝子形質 (monogenic trait) と多遺伝子形質 (polygenic trait) の違いについて、それぞれ具体例を挙げながら説明せよ。

C-16 研究指導名：スポーツ生理学（前田 清司）

糖尿病の運動療法について、運動の急性効果と慢性効果を説明しなさい。

C-17 研究指導名：応用生理学（宮地 元彦）

数ヶ月にわたる高強度のレジスタンストレーニングによって引き起こされる骨格筋の適応について、形態と機能の観点から述べよ。

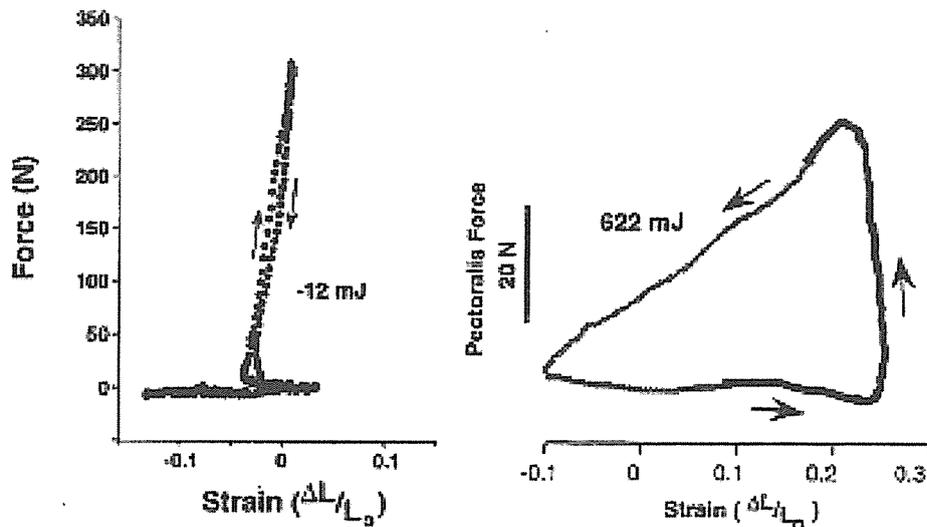
C-18 研究指導名：スポーツ傷害・怪我・予防学（杉本 大輔）

Please give examples of each of the following sport types: collision, contact, and non-contact sports.

D. 身体運動科学研究領域

D-1 研究指導名：生体ダイナミクス (川上 泰雄)

下図はワラビーのホッピング中 (左：足底筋) とハトの飛翔中 (右：大胸筋) の筋線維の伸長 (至適長当たりの相対値) とそれぞれの腱張力をプロットしたものである。それぞれについて、骨格筋の力学的エネルギー発揮方略について説明しなさい。



1. ※ページ下部に出典を追記しております。

Biewener and Roberts, 2000 (改変)

2. ※ページ下部に出典を追記しております。

D-2 研究指導名：スポーツ心理学 (正木 宏明)

試合中にアスリートが体験する「あがり」のメカニズムを説明したうえで、効果的な対処法について述べよ。

D-3 研究指導名：統合運動神経生理学 (宝田 雄大)

以下の2問のいずれかを選択し、その設問に解答しなさい。

A 動機づけにより、最大随意筋力が増加した。このメカニズムについて考えるところを述べよ。

B Takarada et al. (2000)は、局所的な血流制限下のレジスタンス (加圧) トレーニングでは、たとえ低強度でも、高強度の場合に匹敵する筋肥大をともなった筋力増加を引き起こすことを明らかにした。またこの血流制限下では、筋疲労を引き起こすような繰り返しの筋収縮はもとより、単発の筋収縮でさえ、発揮筋力に対する知覚がその筋活動の変化を伴うことなく増大し、より大きな努力感を抱くことも分かっている (Takarada et al., 2006)。この努力感増大要因について、考えるところを述べよ。但し、短時間の上腕基部への圧迫は正中神経機能を阻害しないこと、そして、筋収縮を伴わないその圧迫は経頭蓋磁気刺激法による単発の一次運動野刺激の誘発筋電図に何らの変化も与えないこととする。

1. Figure adapted with permission from Biewener, A.A., Konieczynski, D.D. and Baudinette, R.V. In vivo muscle force and elastic energy storage during steady-speed hopping of tamar wallabies. J Exp Biol (1998) 201 (11): 1681-1694. Copyright ©1998 The Company of Biologists Limited. <https://doi.org/10.1242/jeb.201.11.1681>

2. Figure adapted with permission from Biewener, A.A., Corning, W.R. and Tobalske, B.W. In Vivo Pectoralis Muscle Force-Length Behavior During Level Flight In Pigeons (Columba Livia). J Exp Biol (1998) 201 (24): 3293-3307. Copyright ©1998 The Company of Biologists Ltd. <https://doi.org/10.1242/jeb.201.24.3293>

D-4 研究指導名：バイオメカニクス（矢内 利政）

一般に、関節運動はその関節を跨ぐ筋が発揮する筋張力によって生み出されると考えられる。しかしながら、スポーツにおける身体運動メカニズムを解析すると、これらの筋が活動していないにもかかわらず、関節運動が開始される場面や関節運動が高速度で行われる場面が存在する。このような、主動筋の働きを伴わずに関節運動を行う運動例を2つ挙げ（競技種目と技、対象となる関節と関節運動を明記すること）、それぞれの関節運動の生成メカニズム（力学的な原因と結果の関係）を詳しく説明せよ。

D-5 研究指導名：スポーツ栄養学（田口 素子）

スポーツにおける相対的エネルギー不足(Relative Energy Deficiency in Sport)について知るところを述べなさい。

D-6 研究指導名：運動生理学（林 直亨）

アデノシン3リン酸(ATP)の再合成プロセスについて説明しなさい。また、運動の強度や時間が、そのプロセスに与える影響について述べなさい。

E. コーチング科学研究領域

E-1 走運動・コーチング科学 (磯 繁雄)

あなたが短距離走を説明する際に対象とする選手の特徴（競技力、男女、年齢など）を決定する。決定した選手の100m走の速度曲線をフリーハンドで図示し、ピッチとストライドの変化を図中に明確に示す。図の説明を200字程度で説明せよ。

E-2 トップスポーツコーチング科学 (奥野 景介)

「第3期スポーツ基本計画」(文科省, 2022) に示されている「国際競技力の向上」のための施策として、「中長期の強化戦略に基づく競技力向上支援システムの確立」のためには、どのような方策が考えられるか？

上記について、トップレベルのアスリートを対象とした自分の考えを述べなさい。

E-3 スポーツコーチング学 (土屋 純)

運動技術の階層性について、具体的なスポーツ運動を例に解説しなさい。

E-4 コーチング心理学 (堀野 博幸)

コーチングにおける「コーチの自己省察」の重要性について、コーチング現場での具体例を示しながら説明してください。

E-5 ボールゲーム戦術戦略論 (倉石 平)

育成年代の指導について(年代と発育に合致したトレーニング)、あなたが考える留意点を述べなさい。

(育成期、二次成長期、クラムジー、ポストゴールデンエイジを配慮して述べなさい)

E-6 トレーニング科学 (岡田 純一)

あるチームの監督が、選手に腰部の傷害が増加しているのは「背筋が弱いからだ」と考え、レジスタンストレーニング中には全選手がリフティングベルトを着用するように指示した。

この指示について、ストレングスコーチとしてどのように助言すべきか述べなさい。なお、レジスタンスエクササイズ動作とベルトの役割、下背部の筋機能に対するベルトの影響、ベルトを着用すべき例について含めること。

E-7 チームスポーツコーチング論 (松井 泰二)

あなたが専門とする競技やその種目における戦術について具体的に明示し、採用時のベネフィットとリスクも説明しなさい。その際に競技名や種目等を明らかにすること。

E-8 武道のコーチング学 (射手矢 岬)

武道における形稽古の重要性を説明しなさい。

E-9 冬季スポーツコーチング学 (藤田 善也)

「雪上・氷上」と「陸上」の違いは、これらをフィールドとするスポーツの技術にどのような違いをもたらしているか、述べよ。

